

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009001	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M1) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(M1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水5 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。Business English の教材から、医学に関する話題を選び、リスニングやスピーキングの訓練をします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してこくことも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材、パワーワーズと3 Step も課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。 授業は教科書を用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、速読練習をし、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分の読解は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行います。 またe-learning 教材パワーワーズや3 Step CALLの教材を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 (テキスト) : Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、授業中の発表10%、e-learning 40% (テスト) で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業の詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) Business English Flu (1) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit1-5
第2回	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) Business English Flu (2) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit 6-10
第3回	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) Business English Flu (3) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第4回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) Business English Flu (4) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit11-15
第5回	Business English Flu (5)と復習 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit 16-20
第6回	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) Business English obesity (1) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第7回	Business English obesity (2) 3 Step CALLの教材 (New York Live) テスト Power Words Level 5 Unit 21-25
第8回	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) Business English obesity (3) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level Unit 5 26-30
第9回	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) Business English obesity (4) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第10回	Business English obesity (5)と復習 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit 5 31-35
第11回	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) Business English Good Posture (1) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit 5 36-40
第12回	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy Business English Good Posture (2) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第13回	Business English Good Posture (3)(4) 3 Step CALLの教材 (New York Live)テスト Power Words Level 5 Unit 5 41-45
第14回	Unit 15. Medicine Around 1850 Power Words Level 5 Unit 5 46-50
第15回	Business English Good Posture 復習 Power Words Level 5 Unit 5 小テスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1, 金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009002	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M2) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日2限目		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、英語語で要約する訓練やE-mailの書き方の訓練を行う。とりわけ、英語圏への留学を想定した実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業到達目標 / Goal	英語圏への留学を想定し、英語でのE-mailの書き方を身につける。 まとまった英文の大意をつかみながら、日本語・英語語の要約ができるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	グループワークを通して、学生が自ら考え、学ぶことを目的とした活動を取り入れる。 また、添削指導を行いながらE-mailの書き方や要約する力の基礎固めを行う。そのため、授業前に基礎知識をビデオ教材で学び、基本的な書き方を理解してくること。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3-Step CALL System (30% : 小テスト2回、学習時間) : 30% Power Words : 10% 授業中の小テスト : 10% 課題及び授業中の取組 : 30% 期末試験 : 20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう！！		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習法方についての説明 アンケートの実施 E-mailを英語で書いてみよう		
第2回	E-mailの書き方(1) E-mailの基本的な書き方について考える。		
第3回	E-mailの書き方(2) E-mailの送信元、送信先、タイトルの書き方について学ぶ。		
第4回	E-mailの書き方(3) E-mailの本文の書き方について学ぶ。		

第5回	E-mailの書き方(4) E-mailの返信の書き方について学ぶ。
第6回	要約の方法(1) ニュースを読み、Articleの要約とは何かについて考える。
第7回	3-STEP小テスト (30分程度)、要約の方法(2) パラグラフ毎の要約方法について学ぶ。 キーワードの見つけ方
第8回	要約の方法(3) パラグラフ毎の要約方法について学ぶ。 要約の書き方
第9回	要約の方法(4) 全体の要約方法について学ぶ。 要約の書き方(200語程度)
第10回	要約の方法(5) 全体の要約方法について学ぶ。 要約の書き方(50語から100語程度)
第11回	要約の方法(6) 本の要約方法について学ぶ。 好きな本を選び、要約する Peer review
第12回	要約の方法(7) 英語で本の要約を発表する(準備)。 発表時に必要なフレーズについて学ぶ。
第13回	3-STEP小テスト (30分程度)、要約の方法(8) 英語で本の要約を発表する。
第14回	要約の方法(9) 英語で本の要約を発表する。
第15回	総復習と振り返り
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1, 金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/06/06 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009003	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M3) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	B棟1F		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、日本語でまとめる訓練を行う。また、英文を読んで自分の意見を論理的に述べるができるライティングの基礎を養う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語の要約ができるようになる。 論理的に自分の意見を英語で述べられるようになる。 Essay Writingの書き方の基礎を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	グループワークを通して、学生が自ら考え、学ぶことを目的とし、論理的に自分の意見を英語で伝えられる活動を取り入れる。 また、添削指導を行いながら論理的な文章を書けるようになる基礎固めを行う。そのため、授業前に基礎知識をビデオ教材で学び、基本的な書き方を理解しておくこと。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	reading strategies, essay writing		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ビデオ教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3-Step CALL System (30% : 小テスト2回、学習時間) Power Words(10%) 課題の提出及び授業中の取組 (30%) 期末試験 (30%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	このクラスは、添削指導等の細やかな指導を行います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	【オリエンテーション】 e-learning教材の説明 学習方法の説明 アンケートの実施 日本語で英文を要約する		
第2回	意見を述べる(1) プリント教材を使用し、英文の要約を日本語で行う。 自分の意見を述べる方法を学ぶ。		
第3回	意見を述べる(2) プリント教材を使用し、英文の要約を日本語で行う。 自分の意見を論理的に述べる方法を考える。		
第4回	意見を述べる(3) プリント教材を使用し、英文の要約を日本語で行う。 自分の意見を論理的に述べる方法を学ぶ。		

第5回	意見を述べる(4) これまでのプリント教材を振り返り、グループとしての意見を論理的にまとめ、発表する。
第6回	Essay Writing(1) 全体の構成について学ぶ
第7回	3Step小テスト(1)(約30分程度)、Essay Writing(2) Introductionの構成について学ぶ
第8回	Essay Writing(3) Introductionの構成について学ぶ Peer review
第9回	Essay Writing(4) Bodyの構成について学ぶ
第10回	Essay Writing(5) Bodyの構成について学ぶ Peer review
第11回	Essay Writing(6) Conclusionの構成について学ぶ
第12回	Essay Writing(7) Conclusionの構成について学ぶ Peer review
第13回	3Step小テスト(2)(約30分程度)、Essay Writing(8) 総復習 Essay Writingを完成させる。
第14回	Essay Writing(9) 総復習 Essay Writingを完成させる。 Peer review
第15回	総復習と振り返り
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/06/06 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009004	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M4) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代 / Mituno Momoyo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M 4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜2限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、人間生物学に関する語彙と概念を紹介する教科書を使って英語の表現や論理を学習し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標/Goal	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語で書かれた人間生物の概念を理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに重要な学習活動を概観した後、一週間の授業で1Unitをカバーしていく予定です。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。		
キーワード/Key word	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	CLIL英語で学ぶ身体のおしくみと働き 三修社 2052円 およびハンドアウトを適宜配布。 英語の辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E - Learning (40%: 3-step 30% and Power Words 10%)、授業活動・課題への積極的参加 (20%)、期末試験 (40%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	基本的に授業には毎回遅れないよう出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席してください。		
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 (8 June)	Introduction		
2 (9 June)	Unit 1		
3 (15 June)	Unit 1		
4 (16 June)	Unit 1		
5 (22 June)	Unit 2		
6 (23 June)	Unit 2		
7 (29 June)	Unit 3 3 step short test		
8 (30 June)	Unit 3		
9 (6 July)	Unit 4		

10 (7 July)	Unit 4
11 (13 July)	Unit 5
12 (14 July)	Unit 5
13 (20 July)	Unit 6 3 step short test
14 (21 July)	Unit 6
15 (27 July)	Review
16 (28 July)	Final exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009005	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M5) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	M5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習チェック及びテストゼミ(20%), 3Step CALL System(30%), Power Words(10%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	Listening 5, テキストUnit12		
第7回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit15		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	Listening 9, テキストUnit4		
第12回	Listening 10, テキストUnit6		
第13回	3Step小テスト(2), テキストUnit7		

第14回	Listening 11, テキストUnit8
第15回	まとめ、テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4, 水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009006	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M6) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代 / Mituno Momoyo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜2限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、人間生物学に関する語彙と概念を紹介する教科書を使って英語の表現や論理を学習し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標/Goal	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語で書かれた人間生物学の概念を理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。		
キーワード/Key word	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	CLIL英語で学ぶ身体のおしくみと働き 三修社 2052円 およびハンドアウトを適宜配布。 英語の辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E - Learning (40%: 3-step 30% and Power Words 10%)、授業活動・課題への積極的参加 (20%)、期末試験 (40%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	基本的に授業には毎回遅れないように出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 (6 April)	Introduction		
2 (7 April)	Unit 1		
3 (13 April)	Unit 1		
4 (14 April)	Unit 1		
5 (20 April)	Unit 2		
6 (21 April)	Unit 2		
7 (27 April)	Unit 3 3 Step short test		
8 (28 April)	Unit 3		
9 (11 May)	Unit 4		
10 (12 May)	Unit 4		

11 (18 May)	Unit 5
12 (19 May)	Unit 5
13 (25 May)	Unit 6 3 step short test
14 (26 May)	Unit 6
15 (1 June)	Review
16 (2 June)	Final exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009007	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K1) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代 / Mituno Momoyo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	K1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜2限		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	この授業は、ニュースを読み、聞くを通して、英語の表現や論理を理解し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標 / Goal	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	英語で書かれたニュースを理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容 / Class outline / Con	授業のはじめに英語のコミュニケーション能力を習得するために重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。		
キーワード / Key word	リスニング、クリティカル・シンキング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Power Up your English with CNN news 朝日出版社 1800円 およびハンドアウトを適宜配布。 英語の辞書		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	E - Learning (40%: 3step30% and Power Words 10%)、授業活動・課題への積極的参加 (20%)、期末試験 (40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	基本的に授業には毎回遅れないよう出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意してください。最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席してください。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1 (8 April)	Introduction		
2 (15 April)	Unit 1		
3 (22 April)	Unit 2		
4 (6 May)	Unit 3		
5 (13 May)	Unit 4		
6 (20 May)	Unit 5 3 step short test		
7 (27 May)	Unit 6		
8 (3 June)	Unit 7		
9 (10 June)	Unit 8		
10 (17 June)	Unit 9		

11 (24 June)	Unit 10
12 (1 July)	Unit 11 3 step short test
13 (8 July)	Unit 12
14 (15 July)	Unit 13
15 (22 July)	Review
16 (29 July)	Final exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009008	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K2) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	K2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	クリティカル・シンキングという、思考の方法を学び、生活や専門の研究に取り入れる。興味深い内容の、多彩なトピックの英文を通して、物事に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。ダイアログを学び、実用的な英語を習得する。また、物事に対する考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	クリティカル・シンキングを学び、自分の人生に役立てることができる。様々な事象に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。文法を復習する。基礎的な能力を確かなものにし、応用的な英語の運用ができるようになる。ダイアログを学び、有用な英語表現ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	CDを用いながら、ダイアログの練習や、英文を声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキミング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに理解をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。クリティカル・シンキングを常に認識しながら、リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキミングにより、内容の把握と理解をする。ダイアログの練習を行う。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は様々なトピックを取り扱い、関心を引くものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
キーワード/Key word	クリティカル・シンキング / リーディング / リスニング / ダイアログ / 英文法 / 英作文 / 多彩な関心を引くトピック		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	An Invitation to Critical Thinking 『クリティカル・シンキングのすすめ』 (高垣俊之 / 河原俊昭 他: 南雲堂) (CD付き) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60%、課外学習のE-learning 40% (3 Step 30%、Power Words 10%) を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 7日	導入・授業内容の説明
第2回 4月14日	Lesson 1
第3回 4月21日	Lesson 2
第4回 4月28日	Lesson 3
第5回 5月12日	Lesson 4
第6回 5月19日	Lesson 5 第1回 3 Step 小テスト
第7回 5月26日	Lesson 6
第8回 6月 2日	Lesson 7
第9回 6月 9日	Lesson 8
第10回 6月16日	Lesson 9
第11回 6月23日	Lesson 10
第12回 6月30日	Lesson 11 第2回 3 Step 小テスト
第13回 7月 7日	Lesson 12
第14回 7月14日	Lesson 13
第15回 7月21日	Lesson 14
第16回 7月28日	Lesson 15

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009009	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K3) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	村岡 三奈子 / Muraoka Minako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(K3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	muraoka@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日昼休み または、muraoka@n-junshin.ac.jp にて随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	映画を教材として、場面や状況に応じた生きた英語表現を身につけることを目指す。		
授業到達目標/Goal	基本的構文および文法事項に留まらず、生きた英語表現や文化的知識を身につけることが出来る。		
授業方法 (学習指導法) /Method	原則として、毎週、テキストを1章ずつ進めながら、英語の4技能をバランスよく学習する。		
授業内容/Class outline/Con	視覚教材を用いながら、ストーリーを把握し、スクリプトの文法事項や英語表現に習熟する。		
キーワード/Key word	Comprehensive English		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Dead Poets Society (TSURUMI SHOTEN)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト: 10% プレゼンテーション: 10% 定期試験: 40% 課外学習の e-learning: 40% (詳細は第1回目の授業で説明)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するために、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先: TEL: 095-819-2006 FAX: 095-819-2948 E-MAIL: support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回、授業のはじめに単語クイズをしますので、テキストの該当箇所を予習して臨んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	4月7日: イントロダクション / 第1章		
第2回	4月14日: 第2章		
第3回	4月21日: 第3章		
第4回	4月28日: 第4章		
第5回	5月12日: 第5章		
第6回	5月19日: 第6章 / 3-step 小テスト		
第7回	5月26日: 第7章		
第8回	6月2日: 第8章		
第9回	6月9日: 第9章		
第10回	6月16日: 第10章		
第11回	6月23日: 第11章		
第12回	6月30日: 第12章 / 3-step 小テスト		

第13回	7月7日：第13章14章
第14回	7月14日：プレゼンテーション準備
第15回	7月21日：プレゼンテーション
第16回	7月28日：定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009010	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L1) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	L1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	ねらい: 二種類のテキストを使います。さまざまな練習問題を解いて行きます。さらに、洋書を読んでいくことで、英語の総合力を高めます。プリントも使用する予定です。		
授業到達目標 / Goal	到達目標: テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
授業方法 (学習指導法) / Method	授業方法 (学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。		
授業内容 / Class outline/Con	まず、英語の総合力を身に付けるプリントを解き、その後洋書を読んでいきます。必ず指定された部分を予習しておいてください。指示された内容を調べることも課題となります。途中関連する映像も紹介する予定です。		
キーワード / Key word	総合英語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Naoki Higashida 著 書名: The Reason I Jump (第一回目の授業時に教室にて販売します。1,777円位)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験60% 課外学習のe-learning 40% (3Step CALL System 30% PowerWords 10%) 定期テストには、遅刻・欠席・授業中の態度も含みます。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回決められた分量の英文を読んで、英語の楽しさを味わってほしいと思います。併せて、読む・聞く・書く・話すの総合力を身に付けてほしいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回: オリエンテーション Pracatice Test 1		
第2回	第2回: 復習・Practice Test 2 Reading 1回目		
第3回	第3回: 復習・Practice Test 3 Reading 2回目		
第4回	第4回: 復習・Practice Test 4 Reading 3回目		
第5回	第5回: 復習・Practice Test 5 Reading 4回目		

第6回	第6回：復習・Practice Test 6 Reading 5回目 3step 小テスト1回目
第7回	第7回：復習・Practice Test 7 Reading 6回目
第8回	第8回：復習・Practice Test 8 Reading 7回目
第9回	第9回：復習・Practice Test 9 Reading 8回目
第10回	第10回：復習・Practice Test 10 Reading 9回目
第11回	第11回：復習・まとめ1 Reading 10回目
第12回	第12回：復習・まとめ2 Reading 11回目 3step 小テスト2回目
第13回	第13回：Reading 12回目
第14回	第14回：復習・まとめ3 Reading 13回目
第15回	第15回：復習・総まとめ
第16回	第16回：定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009011	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L2) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(L2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水5 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のCNNのニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。また、教育関係に関する英文の読解も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびVocabulary Check で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル3の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。テキストのリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法でCNNを聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。 CNNのテキストと同時に授業中にも、3 Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。 またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。 テキストのリスニング問題については、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してきてください。 その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 また、プリントとCDを用いて専門分野の英単語の修得も行ないます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。 担当者から指示された家庭学習や予習復讐を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 (テキスト) : Power Up Your English with CNN News (朝日出版) 1,800円 教材 : プリント教材 必要に応じて毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、e-learning 40%(小テスト) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. e-learning Power Words Level 3 Unit.1~5 3 Step First Listening
第2回	教科書 Unit 2. e-learning Power Words Level 3 Unit.6-10 3 Step First Listening
第3回	教科書 Unit 3. e-learning Power Words Level 3テスト 3 Step First Listening
第4回	教科書 Unit 4. e-learning Power Words Level 3 Unit.11~15 3 Step First Listening
第5回	教科書 Unit 5. e-learning Power Words Level 3 Unit.16~20 3 Step First Listening
第6回	教科書 Unit 6. 3 Step First Listening 3 Step テスト
第7回	教科書 Unit 7. e-learning Power Words Level 3 小テスト Unit.21~25 3 Step First Listening
第8回	教科書 Unit 8. e-learning Power Words Level 3 Unit.26~30 3 Step First Listening
第9回	教科書 Unit 9. e-learning Power Words Level 3 小テスト 3 Step First Listening
第10回	教科書 Unit 10. e-learning Power Words Level 3 Unit.31~35 3 Step First Listening
第11回	教科書 Unit 11. e-learning Power Words Level 3 Unit.36~40 3 Step First Listening
第12回	教科書 Unit 12. 3 Step First Listening テスト
第13回	教科書 Unit 13. e-learning Power Words Level 3テスト Unit.41~45 Bullying に関するニュースビジネス英語
第14回	教科書 Unit 14. e-learning Power Words Level 3 Unit.41~50 Bullying に関するニュースビジネス英語
第15回	教科書 Unit 15. e-learning Power Words Level 3 テスト Bullying に関するニュースビジネス英語
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009012	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L3) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室 (水4前後の時間帯)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	身近な場で出会う外国人旅行者と臆せずにコミュニケーションがとれるようになるための基礎的英語力を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	教科書と副教材(配布プリント)を使った演習形式の授業です。身近な場で出会う外国人旅行者との会話を学び、臆せずに実践で使えるための音読練習やペアワークを行います。また、日本の身近な話題について、情報を発信できるようにするためのリーディングやライティング練習を行っていきます。		
授業内容/Class outline/Con	教科書を使って、身近な場で出会う外国人旅行者との会話を学び、リスニング、ディクテーション、ペアワークによるスピーキング練習をします。英語の発音、アクセント、リズムについても学び、音読練習を通じて、英語で話すことへの自信をつけていきます。日本の身近な話題について、シンプルな英語で情報を発信していく力を養成していきます。授業で学んだ内容の小テストをしていくので、出席、遅刻には注意すること。		
キーワード/Key word	発音、音読、リスニング、リーディング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: You're Welcome - Communication with Tourists Made Easy 出版社: Cengage Learning 授業内で配布するプリント等		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	大学e-learning 40% (3step call system 30%, Power words 10%) 定期試験 40% 授業内小テスト 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	ペアワークなどの活動は積極的に取り組み、楽しく元気に参加してください。各授業で学んだ内容はしっかり復習してください。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	オリエンテーション 大学e-learningと授業の概要、進め方についての説明 自己紹介/アンケート		
第2回	Unit 1 ファーストフード店での対応		
第3回	Unit 2 レストランでの来客対応		
第4回	Unit 3 レストランでの接客サービス		

第5回	Unit 4 コンビニやスーパーでの接客サービス
第6回	3 Step Call System 小テスト1回目 Unit 5 買い物や飲食の会計
第7回	Unit 6 商品やサービスへの苦情対応
第8回	Unit 7 ホテルや旅館での宿泊客受付
第9回	Unit 8 商業施設でのサービス提供や近隣情報の案内
第10回	Unit 9 旅行者への観光案内
第11回	Unit 10 道案内 ( 1 )
第12回	3 Step Call System 小テスト2回目 Unit 10 道案内 ( 2 )
第13回	Unit 11 交通機関の利用案内や観光施設の情報提供
第14回	Unit 12 券売機や電化製品の使用方法の説明
第15回	総復習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009013	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L4) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育学部 (L4)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hijimasako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水3		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標 / Goal	トラベル英語の概要を学び、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。また、自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。ペアワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容 / Class outline / Con	テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning教材を活用し、基礎力を養成します。		
キーワード / Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	English for Tourism Basic, 三修社, Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験50%、e-learning 40% (3step Call System 30%, Power Words 10%), 授業中の発表10%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回	オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning		
2回	教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning		
3回	教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning		
4回	教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning		
5回	教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning		
6回	教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning、3step小テスト(1)		
7回	教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning		
8回	教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning		
9回	教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning		
10回	教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning		
11回	教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning		
12回	教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning、3step小テスト(2)		

13回	教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning
14回	教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning
15回	教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning
16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009014	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L5) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 更花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	総合英語I(L5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。DVD、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Goal	自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語の四技能を総合的に伸ばす訓練をする。ペアで取り組む課題を多く取り入れる。		
授業内容/Class outline/Con	予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。英文解釈やペアでの会話など、毎回無作為に指名して発表してもらう。英語の表現方法・発音の特徴などを確認する。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Takako Takamoto, Miyo Notomi "Fantastic English World" Kaibunsha * 初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して授業に出席してください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、E-Learning40% (3step30%、PowerWords10%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可))。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	十分に予習して授業に臨むこと。内容がよくつかめなときは、「何が分からないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからない所がはっきりすると思います。授業の後に再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。登場人物を演じるつもりで、場面を想像し、会話を声に出して練習してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	Tabitha's Very Own Samantha(1)接続詞		
第3回	Tabitha's Very Own Samantha(2)許可の表現		
第4回	Tabitha's Very Own Samantha(3)比喩表現		
第5回	Tabitha's Very Own Samantha(4)義務・必要の表現		
第6回	3step小テスト1回目/Tabitha's Very Own Samantha(5)原級比較		
第7回	Tabitha's Very Own Samantha(6)日本語との違い		
第8回	Samantha's Secret is Discovered(1)仮定法		

第9回	Samantha's Secret is Discovered(2)間接疑問
第10回	Samantha's Secret is Discovered(3)知覚動詞・使役動詞
第11回	Samantha's Secret is Discovered(4)itの用法
第12回	3step小テスト2回目/Samantha's Secret is Discovered(5)that節
第13回	Samantha's Secret is Discovered(6)関係代名詞what
第14回	ドラマの一場面を演じる(ペアでの会話発表)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009015	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L6) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	L6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、TOEIC/TOEFL/IEALTS形式の問題をテストゼミ形式で行い、その後、解答・解説を行う。後半では、テキストを用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3Step CALL System(30%), Power Words(10%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit3		
第3回	Listening 2, テキストUnit5		
第4回	Listening 3, テキストUnit8		
第5回	Listening 4, テキストUnit11		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), テキストUnit12		
第7回	Listening 5, テキストUnit15		
第8回	DVD教材(1), Dictation		
第9回	DVD教材(2), Dictation		
第10回	Listening 6, テキストUnit2		
第11回	Listening 9, テキストUnit4		
第12回	3Step小テスト(2), テキストUnit6		
第13回	Listening 10, テキストUnit7		
第14回	Listening 11, テキストUnit8		

第15回	まとめ、テキストUnit12
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009016	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E1) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	E1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標/Goal	トラベル英語の概要を学び、スムーズな英語のコミュニケーションが行える力をつけます。また、自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。ペアワークをしますので、欠席しないようにしてください。CALL教室のいろいろな機能やインターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容/Class outline/Con	テキストとワークブックを使用して、リーディング、スピーキングの練習をします。インターネットの動画を利用して、モチベーションを高めます。大学のe-learning教材を活用し、基礎力を養成します。		
キーワード/Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	English for Tourism Basic, 三修社, Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、e-learning 40% (3step Call System 30%, Power Words 10%), 授業中の発表10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	シャイネスを打ち破り、元気に英語の勉強をしましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション、教科書Unit 1、e-learning		
第2回	教科書 Unit 2、Workbook 1、e-learning		
第3回	教科書 Unit 3、Workbook 2、e-learning		
第4回	教科書 Unit 4、Workbook 3、e-learning		
第5回	教科書 Unit 5、Workbook 4、e-learning		
第6回	教科書 Unit 6、Workbook 5、e-learning、3step小テスト(1)		
第7回	教科書 Unit 7、Workbook 6、e-learning		
第8回	教科書 Unit 8、Workbook 6、e-learning		
第9回	教科書 Unit 9、Workbook 7、e-learning		
第10回	教科書 Unit 10、Workbook 7、e-learning		
第11回	教科書 Unit 11、Workbook 8、e-learning		
第12回	教科書 Unit 12、Workbook 8、e-learning、3step小テスト(2)		

第13回	教科書 Unit 13、Workbook 9、e-learning
第14回	教科書 Unit 14、Workbook 9、e-learning
第15回	教科書 Unit 15、Workbook 10、e-learning
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009017	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E2) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Object Student	E2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、ITビジネスからファッション、鉱業など幅広い業種の問題を用いて、リーディング力、リスニング力の強化を図ります。また、ディスカッションを通し、自分の意見を述べる訓練も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習形式で行います。写真、見出しを通して、何が話題となっているのか、リーディング以外の部分からも多角的に内容を理解する力をつけていきます。		
授業内容/Class outline/Con	まずは精読によるチャプターの内容理解をCOMPREHENSION CHECK、CLOSE SUMMARY等で確認します。つづいて、チャプターに関連する会話を聞き、リスニング力の強化を図ります。		
キーワード/Key word	Business, Critical thinking skills		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Bottom Line Business Stories 成美堂 1,900円 + 税		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3 step CALL System 30%、Power Words 10%、授業中の発表を含む定期試験60%で行います。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず(正当な理由で)欠席する場合は個別指導を行います。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日頃からニュース等を見て、世界で何が話題になっているのか注意を払うと英文理解の助けになります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	教科書販売 ・ Introduction		
2回目	Chapter 1 SONY 読解		
3回目	Chapter 2 Gucci: A FAMILY STORY 読解		
4回目	Chapter 3 SAM WALTON: FOUNDER OF THE WAL-MART EMPIRE 読解		
5回目	Chapter 4 IKEA 読解		
6回目	Chapter 5 ANDREW CARNEGIE 読解		
7回目	3 step 小テスト Chapter 6 ANITA RODDICK: THE BUSINESS OF BETTERING THE WORLD 読解		
8回目	Chapter 7 GOOGLE POWER! 読解		
9回目	Chapter 8 AMAZON: MORE THAN JUST A BOOKSELLER 読解		
10回目	Chapter 9 AZIM PREMJI: THE BILLIONAIRE OF BANGALORE 読解		

11回目	Chapter 10 SKYPE: LET'S TALK! 読解
12回目	3 step 小テスト Chapter 11 EBAY: SOMETHING FOR EVERYONE 読解
13回目	Chapter 12 STARBUCKS AROUND THE WORLD 読解
14回目	Chapter 13 LENOVO: CHINA'S PC POWERHOUSE 読解
15回目	Chapter 14 MTN: CONNECTING AFRICA 読解
16回目	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009018	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E3) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	前川 智子 / Maekawa Tomoko		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	E3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	t-mae@iso-asca.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後10分間		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	英語の読解力、音読力を高め、語彙を増やすことがねらいである。		
授業到達目標 / Goal	英語エッセイの内容を理解し、英語で的確に答えることができる。派生語を理解し、語彙を増やす。英語らしい発音・イントネーションで英文を読むことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	様々な人々が書いたエッセイを読み、内容を深く理解する。内容把握問題を解くと同時に、本文の overlapping, shadowingを通して、英語らしい読み方を習得する。派生語を中心に語彙力を養成する。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	語彙力、読解力		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	「Peace Talk」 (開文社出版、前川智子編著、Andrea LeBlanc外著)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	E-Learning [小テストを含む](40%) 予習小テスト(20%) 期末テスト(40%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	全回出席が原則。正当な理由があっても、欠席が5回となると失格する。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎回宿題 (教科書の練習問題) を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Orientation 教科書販売 / 授業の進め方 / 英語構成法		
第2回	予習小テスト Ch.1: September 11 (語彙・読解問題、音読)		
第3回	予習小テスト Ch.2: Beyond "September 11" (語彙・読解問題、音読)		
第4回	Review (1,2)		
第5回	予習小テスト Ch.3: The Stone Walk (語彙・読解問題、音読)		

第6回	3 - Step小テスト ( 1 ) ビデオ観賞 / ch.4
第7回	予習小テスト Ch.4: Students ' Power in the Stone Walk ( 語彙・読解問題、音読 )
第8回	Review (Ch. 3、4)
第9回	予習小テスト Ch. 5:Japan and My Family
第10回	予習小テスト Ch.6: The Japan that I love ( 語彙、読解問題、音読 )
第11回	予習小テスト Ch.7:Paper Sculpture ( 語彙・読解問題、音読 ) ビデオ鑑賞 (Ch.7 関連ビデオ)
第12回	3-Step 小テスト ( 2 ) Ch.7
第13回	予習小テスト Ch.8:The tour of the exhibition ( 語彙・読解問題、音読 )
第14回	予習小テスト Ch.11: Prayer for Peace
第15回	授業のまとめと復習
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009019	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E4) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	経済E4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmat@		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館617号		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に読み(精読), 早く読み解くこと(速読)ができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による発信(英作文・英会話)にも応用できる。		
授業到達目標/Goal	TOEICの読解力問題で70%~80%くらいの正解を得ることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	(1) 演習形式とする。受講者全員があらかじめ指定された箇所の語句や表現の意味を調べ, 英文の内容を発表できるように予習する。授業ではこちらが無作為に指名するので, 担当者は当てられた箇所を予習をもとに発表する。 (2) 着実に英語の力をつけるために確認テストを2回行う。 (3) 発話と聴解の訓練も行う。 (4) 授業中に能動的学習を必要に応じて取り入れ, グループ学習やプレゼンを行う。		
授業内容/Class outline/Con	英語の力を高めたいのに実力がつかない, 英語は退屈だと思っている学生も楽しく学べるように, テクストの素材は, 内容が豊かで今日的话题を取り上げた英文にしぼり, 注釈も平易な教科書を用意した。予め存分に予習して授業に臨んでもらいたい。		
キーワード/Key word	読解力(精読・速読), 聴解力, 発話力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Yamazaki, Tatsuroh et al. 2016. What's on Japan 10. Kinseido.		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	(1) 授業内容に関する確認テスト第1回と第2回の成績 60% (2) 3 step CALL Systemの小テスト 2回 30% (3) Power Wordsの小テスト 10% ((2)、(3)に関しては第1回目の授業時に説明する) (4) 「便覧」にあるとおり, 授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
受講要件(履修条件)/Requirements	学生便覧を参照。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には毎回英和辞書を(可能ならば英英辞書も)持参すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, Unit 1 "Waste Not, Want Not" (1)		
第2回	Unit 1 "Waste Not, Want Not" (2)		
第3回	Unit 2 "Dancing Toward Closer Friendship"		
第4回	Unit 3 "Creature Comforts"		
第5回	Unit 4 "White-hat Hackers Wanted"		
第6回	3 Step小テスト1回目, Unit 5 "Rescue Bike" (1)		
第7回	Unit 5 "Rescue Bike" (2)		
第8回	授業確認テスト第1回, Unit 6 "Crash Course Boom" (1)		

第9回	Unit 6 "Crash Course Boom" (2), 確認テスト第1回の解説
第10回	Unit 7 "Big Returns"
第11回	"Unit 8 "Sweet Acts of Kindness"
第12回	3 Step小テスト2回目, Unit 9 "Pioneering Photojournalist" (1)
第13回	Unit 9 "Pioneering Photojournalist" (2)
第14回	Unit 10 "Cafe Beyond Coffee"
第15回	Unit 11 "Indoor Navigation"
第16回	確認テスト第2回 (期末テスト)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009020	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E5) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	E5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、及び14:30 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることができるリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音音的特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容 (概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音音的特徴と法則性 (音法) の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、課外学習のE-Learning40% (3 Step CALL30%、PowerWords10%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	3step小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	3step小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	On an Airplane(3)、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る
第15回	音法のReview、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009021	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E6) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(E6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ねらい:二種類のテキストを使います。さまざまな練習問題を解いて行きます。さらに、洋書を読んでいくことで、英語の総合力を高めます。プリントも使用する予定です。		
授業到達目標/Goal	到達目標:テキストの英語を辞書なしでも読めることを目指します。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業方法 (学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初にはリスニングや、速読能力を高める問題を行います。毎回指定された量の自宅学習が必要とされます。		
授業内容/Class outline/Con	まず、英語の総合力を身に付けるプリントを解き、その後洋書を読んでいきます。必ず指定された部分を予習しておいてください。指示された内容を調べることも課題となります。途中関連する映像も紹介する予定です。		
キーワード/Key word	総合英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Naoki Higashida 著 書名: The Reason I Jump (第一回目の授業時に教室にて販売します。1,777円位)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60% 課外学習の e-learning 40% (3Step CALL System 30% PowerWords 10%) 定期テストには、遅刻・欠席・授業中の態度も含みます。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	定期試験の受験資格は規定による。教科書は必ず購入すること。遅刻厳禁。携帯電話等は授業開始時間になったら使用を禁ずる。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎回決められた分量の英文を読んで、英語の楽しさを味わってほしいと思います。併せて、読む・聞く・書く・話すの総合力を身に付けてほしいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1回: オリエンテーション Pracatice Test 1		
第2回	第2回: 復習・Practice Test 2 Reading 1回目		
第3回	第3回: 復習・Practice Test 3 Reading 2回目		
第4回	第4回: 復習・Practice Test 4 Reading 3回目		
第5回	第5回: 復習・Practice Test 5 Reading 4回目		

第6回	第6回：復習・Practice Test 6 Reading 5回目 3 Step 小テスト1回目
第7回	第7回：復習・Practice Test 7 Reading 6回目
第8回	第8回：復習・Practice Test 8 Reading 7回目
第9回	第9回：復習・Practice Test 9 Reading 8回目
第10回	第10回：復習・Practice Test 10 Reading 9回目
第11回	第11回：復習・まとめ1 Reading 10回目
第12回	第12回：復習・まとめ2 Reading 11回目 3step 小テスト2回目
第13回	第13回： Reading 12回目
第14回	第14回：復習・まとめ3 Reading 13回目
第15回	第15回：復習・総まとめ
第16回	第16回：定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009022	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T1) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、及び14:30 ~ (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることができるリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音音的特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容 (概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音音的特徴と法則性 (音法) の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、課外学習のE-Learning40% (3 Step CALL30%、PowerWords10%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	3step小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	3step小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	On an Airplane(3)、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る
第15回	音法のReview、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009023	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T2) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 更花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	総合英語I(T2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Goal	自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語の四技能を総合的に伸ばす訓練をする。ペアで取り組む課題を多く取り入れる。		
授業内容/Class outline/Con	予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。英文解釈やペアでの会話など、毎回無作為に指名して発表してもらう。イギリス英語の表現方法・発音の特徴などを確認する。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Paul Chris McVay, Nobumichi Kawada, "Let's Check Out the UK!" Kinseido * 初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して授業に出席してください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、E-Learning40% (3step30%、PowerWords10%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可))。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	十分に予習して授業に臨むこと。テキストには音声がついているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何が分からないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからない所がはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。聞き続けていくうちに少しずつ英語の音が耳に入っていきやすくなります。最初は一つの単語、一つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後に再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	I can't wait to explore Britain!(1)イギリス入国		
第3回	I can't wait to explore Britain!(2)「イギリス」とは		
第4回	How about going to a pub?(1)パブカルチャーと飲酒問題		
第5回	How about going to a pub?(2)/The scenery is breathtaking, isn't it?(1)湖水地方		

第6回	3step小テスト1回目/The scenery is breathtaking, isn't it?(2)ナショナルトラスト
第7回	The scenery is breathtaking, isn't it?(3)ワーズワース、ポター
第8回	What do you suggest we do today?(1)美術館
第9回	What do you suggest we do today?(2)ホームズ
第10回	This is a multi-ethnic country(1)多民族社会イギリス
第11回	This is a multi-ethnic country(2)レオナ・ルイス、ルイス・ハミルトン
第12回	3step小テスト2回目/What's it like being a student in the UK?(1)オックスフォード
第13回	What's it like being a student in the UK?(2)大学生活
第14回	ペアでの会話発表
第15回	ブックメーカー、イギリス料理、まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009024	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T3) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスは、健康、環境、生物、技術、宇宙など幅広いニュース素材を用いて、リーディング力、リスニング力の強化を図ります。また、ディスカッションを通し、自分の意見を述べる訓練も行います。		
授業到達目標 / Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。リーディングでは、各チャプターで鍵となる文法に触れ、大意を取る練習をします。リスニングでは、単語の音の聞き分け練習を行いながら聞き取る訓練を行います。		
授業内容 / Class outline / Con	まずはテキストの内容を正確に理解するため、鍵となるVOCABULARYの確認を行います。つづいて、Passageを読み、COMPREHENSIONを通して、トピックの正確な理解ができていないか確認します。つづいてチャプターで登場した文法項目をGRAMMAR、COMPOSITIONでさらに理解度強化を図ります。最後にチャプターに関連する会話表現を聞き、リスニング力の強化を図ります。		
キーワード / Key word	Health, Environment, Organisms, Technology, Universe		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Science Wisdom 成美堂 1,900円 + 税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3 step CALL System 30%、Power Words 10%、授業中の発表を含む定期試験60%で行います。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず (正当な理由で) 欠席する場合は個別指導を行います。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日頃からニュース等を見て、世界で何が話題になっているのかに注意を払うと英文理解の助けになります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売 ・ Introduction		
第2回	Chapter 1 Animals' Sleeping Hours		
第3回	Chapter 2 The Mechanism of Hiccups		
第4回	Chapter 3 The Taste of Tears		
第5回	Chapter 4 Male Brains and Female Brains		
第6回	3 step 小テスト Chapter 5 Light from Fireflies		
第7回	Chapter 6 Merits and Demerits of Pyramids		
第8回	Chapter 7 The Birth of the Hawaiian Islands		

第9回	Chapter 8 Bees and the Extinction of Man
第10回	Chapter 9 Herbivorous Horns
第11回	Chapter 10 Sunflowers and the Sun !?
第12回	3 step 小テスト Chapter 11 Trees of Greatness and the Greatness of Trees
第13回	Chapter 12 Living Fossils
第14回	Chapter 13 Electric Cars VS Hydrogen Cars
第15回	Chapter 14 The Future of Smartphones
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009025	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T4) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-ikeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL/Tel	819-2092		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウンの読解方法の実践指導を行う。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。TOEIC Test で500点以上の高得点を取れるような日常的な努力を目指し、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。</p>		
授業方法 (学習指導法) /Method	<p>「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラビッド・リーディングの訓練を行う。内容的にはup-to-dateな話題を扱ったものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやってもらう。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>1回目 オリエンテーション：授業の眼目説明と授業展開のシュミレーション  2回目 Impact Craters：地球上の衝突クレーターについて考える  3回目 Tides：潮の満ち引きと太陽・月の引力について考える  4回目 The Great Pacific Garbage Patch：海流とプラスチックごみの生態系への影響を考える  5回目 Colors in the Sky：虹の発生の原理を考える  6回目 Climate Modelling：人間の活動と気候の変化について考える  7回目 Dark Matter and Dark Energy：宇宙の暗黒物質とダークエネルギーについて考える  8回目 Natural Selection：生物の進化について考える  9回目 Rockets：ロケットが大気圏外へ出る原理を考える  10回目 The Hazards of Space Travel：有人宇宙飛行の人体への影響を考える  11回目 The Cassini-Huygens Mission：土星探査機の航法と調査結果を考える  12回目 Space Junk：有人宇宙船が落とす宇宙ゴミについて考える  13回目 Saving the Kakapo：地球上の絶滅危惧種の保護を考える  14回目 The Birth of Geneticsメンデルと：遺伝子研究について考える  15回目 まとめ  16回目 定期試験</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Ian Bowring et.al., Our Place in the Universe, 成美堂		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末筆記試験(60%), 小テストの結果(30%)とE-ラーニング学修履歴(10%)など全学教育(英語)の規則に従って、評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	指定クラスの学生及び再履修学生		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。  アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先  (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	毎日のEラーニング(自習教材)の活用、授業前の予習等規則的な学習に努めること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		

第1回	以下のおおまかな順番で授業を進める。 第1回：授業概要（テキストを通じた授業内容の説明） Unit 1 :Impact Craters 地球の成り立ちを考える
第2回	第2回： Unit 2 :Tides 潮の満ち引き現象を考える
第3回	第3回： Unit 3 :The Great Pacific Garbage Patch 大洋のプラスチック塵の対流を考える
第4回	第4回： Unit 4 :Colors in the Sky 空の色の変化を考える
第5回	第5回： Unit 5 :Climate Modeling 気候変動を考える
第6回	第6回：3step 小テスト（1回目） Unit 6 :Dark Matter and Dark Energy 宇宙の謎を考える
第7回	第7回： Unit 7 :Natural Selection 生物の進化を考える
第8回	第8回： Unit 8 :Rockets 多段式ロケットの原理を考える
第9回	第9回： Unit 9 :The Hazards of Space Travel 宇宙旅行の危険性を考える
第10回	第10回： Unit 10 :The Cassini-Huygens Mission 土星探査を考える
第11回	第11回： Unit 11 :Space Junk 宇宙塵について考える
第12回	第12回： Unit 12 :Saving the Kakapo 絶滅危惧種の救済を考える
第13回	第13回： Unit 13:The Birth of Genetics 遺伝子の利用について考える
第14回	第14回： Unit 14:Coral Reefs 珊瑚礁の絶滅について考える
第15回	第15回：まとめと定期試験のための質問タイム
第16回	定期試験（筆記）：形式については第15講の授業時に説明

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009026	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T5) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T5		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスは、昆虫食、災害救助ロボットなど幅広いニュース素材を用いて、リーディング力、リスニング力の強化を図ります。また、ディスカッションを通し、自分の意見を述べる訓練も行います。		
授業到達目標 / Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。リーディングでは、大意を取る練習をします。Focus on Contents, Summaryを通して、英文の理解度を確認します。		
授業内容 / Class outline / Con	まずはテキストの内容を正確に理解するため、鍵となるVOCABULARYの確認を行います。つづいて、Focus on Contents, Summaryを通して、トピックの正確な理解ができているか確認します。また、Focus on Phrases, Writing Practiceを通して、文法の理解度定着も図ります。		
キーワード / Key word	Earth, Robots, Data, Science		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Science Matters! 金星堂 1,900円 + 税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3 step CALL System 30%、Power Words 10%、授業中の発表を含む定期試験60%で行います。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず (正当な理由で) 欠席する場合は個別指導を行います。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日頃からニュース等を見て、世界で何が話題になっているのか注意を払うと英文理解の助けになります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売 ・ Introduction		
第2回	Unit 1 Solar Impulse		
第3回	Unit 2 The Lyrebird		
第4回	Unit 3 Busy Bees		
第5回	Unit 4 Biometric Data		
第6回	3 step 小テスト Unit 5 Rare Earth		
第7回	Unit 6 Herd Immunity		
第8回	Unit 7 Geothermal Energy		
第9回	Unit 8 Insects for Food		
第10回	Unit 9 Ivory		

第11回	Unit 10 Maglev Train
第12回	3 step 小テスト Unit 11 Robots
第13回	Unit 12 International Space Station
第14回	Unit 13 Pipe Organ
第15回	Unit 14 Earthquake and Detection Systems
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009027	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T6) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo@hotmail.co.jpのメールで受け付けます。		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	このクラスは、自然、疑似科学、人体の不思議、宇宙など幅広いニュース素材を用いて、リーディング力、リスニング力の強化を図ります。また、ディスカッションを通し、自分の意見を述べる訓練も行います。		
授業到達目標 / Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がつかめるようにします。また、授業で扱った内容に対して、自分の意見を伝えられるようにします。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。リーディングでは、大意を取る練習をします。また、応用問題を通して、各チャプターで登場した英語表現の定着を図ります。		
授業内容 / Class outline / Con	まずはテキストの内容を正確に理解するため、鍵となるVOCABULARYの確認を行います。つづいて、COMPREHENSION QUESTIONSを通して本文の理解度の確認を、また、WRITING等を通して、本文に登場した文法項目の理解の定着を図ります。		
キーワード / Key word	Nature, Fact or Fiction, Universe		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Science Updates 成美堂 1,900円+税		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	3 step CALL System 30%、Power Words 10%、授業中の発表を含む定期試験60%で行います。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただしやむを得ず (正当な理由で) 欠席する場合は個別指導を行います。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日頃からニュース等を見て、世界で何が話題になっているのかに注意を払うと英文理解の助けになります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	教科書販売 ・ Introduction		
第2回	Unit 1 Four-Legged Fish		
第3回	Unit 2 Reproduction Without Males		
第4回	Unit 3 Deeper and Deeper		
第5回	Unit 4 An Explosive World Heritage		
第6回	3 step 小テスト Unit 5 Fierce Fungi		
第7回	Unit 6 Extreme Weather		
第8回	Unit 7 The Wolf Girls of Bengal		
第9回	Unit 8 Finding Nessie		
第10回	Unit 9 Crop Circles		

第11回	Unit 10 Smart Roots
第12回	3 step 小テスト Unit 11 Insecticide Resistance
第13回	Unit 12 Unwelcome Guests
第14回	Unit 13 Galileo's Inclined Plane
第15回	Unit 14 All the Colors of the Rainbow
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009028	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T7) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務局)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基本的で実用的な英文の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。英文の暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。英語の歌を通して、英米の文化を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	基本的・実用的な英文や英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。英語の歌や日常会話を通して、歌詞の背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語のフレーズと歌詞の詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことにより、英語の表現を容易に覚えられるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えた英文を使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピティングを行うことで、スキルの定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	英米の歌にみられる英語表現を中心として、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。歌詞の表現を英語で覚える。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、英語の歌詞について、英語表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。英米の歌の内容やその背景について解説する。歌を通して、英会話とコミュニケーションに対する意欲をさらに持てるように指導していく。		
キーワード/Key word	英米の歌 / 歌詞の暗記 / 文法と発音の強化 / 歌を通して英語表現の容易な定着		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『歌で学ぶ英語コミュニケーション』(CD付き) (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験60%、課外学習のE-learning40%(3Step30%、Power Words10%)を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 8日	導入・授業内容の説明
第2回 4月15日	UNIT 1・2
第3回 4月22日	UNIT 3
第4回 5月 6日	UNIT 4
第5回 5月13日	UNIT 5
第6回 5月20日	UNIT 6 3 Step 小テスト 第1回目
第7回 5月27日	UNIT 7
第8回 6月 3日	UNIT 8
第9回 6月10日	UNIT 9
第10回 6月17日	UNIT 10
第11回 6月24日	UNIT 11
第12回 7月 1日	UNIT 12 3 Step 小テスト 第2回目
第13回 7月 8日	UNIT 13
第14回 7月15日	UNIT 14・15
第15回 7月22日	UNIT 16
第16回 7月29日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/21		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009029	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T8) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	イギリスに関する興味深い内容の英文を通して、英語に対する関心を高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、イギリス文化と英語について、イギリスと日本の比較文化という観点から、考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	イギリスとイギリス文化に対して関心を持ち、英語の習得に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。英文はイギリスおよびイギリスと日本との比較文化を取り扱い、特色ある内容である。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / イギリスとその文化 / イギリスと日本との比較文化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Cross-Cultural Views on Britain 『比較文化で考えるイギリスと日本』 (Richard H. Bent / 井石哲也 / 井石令子: 南雲堂) (CD付き) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60%、課外学習のE-learning 40% (3 Step 30%、Power Words 10%) を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月 7日	導入・授業内容の説明
第2回 4月14日	Unit 1
第3回 4月21日	Unit 2
第4回 4月28日	Unit 3
第5回 5月12日	Unit 4
第6回 5月19日	Unit 5 第1回 3 Step 小テスト
第7回 5月26日	Unit 6
第8回 6月 2日	Unit 7
第9回 6月 9日	Unit 8
第10回 6月16日	Unit 9
第11回 6月23日	Unit 10
第12回 6月30日	Unit 11 第2回 3 Step 小テスト
第13回 7月 7日	Unit 12
第14回 7月14日	Unit 13
第15回 7月21日	Unit 14
第16回 7月28日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009030	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T9) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 更花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 更花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Object Student	総合英語I(T9)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Goal	自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語の四技能を総合的に伸ばす訓練をする。ペアで取り組む課題を多く取り入れる。		
授業内容/Class outline/Con	予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。英文解釈やペアでの会話など、毎回無作為に指名して発表してもらう。イギリス英語の表現方法・発音の特徴などを確認する。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Paul Chris McVay, Nobumichi Kawada, "Let's Check Out the UK!" Kinseido * 初回の授業時に教室で教科書販売があります。2回目以降の授業には必ずテキスト本体を入手して授業に出席してください。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、E-Learning40% (3step30%、PowerWords10%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可))。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	十分に予習して授業に臨むこと。テキストには音声がついているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何が分からないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからない所がはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。聞き続けていくうちに少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は一つの単語、一つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できるとと思います。授業の後に再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	I can't wait to explore Britain!(1)イギリス入国		
第3回	I can't wait to explore Britain!(2)「イギリス」とは		
第4回	How about going to a pub?(1)バブカルチャーと飲酒問題		
第5回	How about going to a pub?(2)/The scenery is breathtaking, isn't it?(1)湖水地方		

第6回	3step小テスト1回目/The scenery is breathtaking, isn't it?(2)ナショナルトラスト
第7回	The scenery is breathtaking, isn't it?(3)ワーズワース、ポター
第8回	What do you suggest we do today?(1)美術館
第9回	What do you suggest we do today?(2)ホームズ
第10回	This is a multi-ethnic country(1)多民族社会イギリス
第11回	This is a multi-ethnic country(2)レオナ・ルイス、ルイス・ハミルトン
第12回	3step小テスト2回目/What's it like being a student in the UK?(1)オックスフォード
第13回	What's it like being a student in the UK?(2)大学生活
第14回	ペアでの会話発表
第15回	ブックメーカー、イギリス料理、まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009031	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T10) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi@tea.ocn.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後 (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語) - 必要最低限の英語 (及び米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Goal	本講座の受講によって、これまで英語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることが究極の目標であるが、まずは英語国民と日常会話レベルでコミュニケーションを図ることができるリスニング力とスピーキング力を習得することが当座の目標である。また、並行してTOEICテストや各種英語資格・検定試験などのリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英米語運用能力を向上させることを目標に掲げたい。		
授業方法 (学習指導法) /Method	まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音音的特徴や法則性 (音法) について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、英米語の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。なお、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事 (ニュース) 等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。		
授業内容/Class outline/Con	授業内容 (概要) 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる英語音声学の視点を取り入れた音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、音素に関する基礎知識の習得、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音音的特徴と法則性 (音法) の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。また、限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて適宜、異文化理解を目的とした英語圏の文化を含む海外事情や、日本との文化的差異に焦点を当てた実体験に基づく比較文化的視座からの実利的なトピックス『体験的・こまぎれ比較文化論』も交えつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開し講義を進めていく。		
キーワード/Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、課外学習のE-Learning40% (3 Step CALL30%、PowerWords10%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のE-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動 (積極的かつ自発的な発言等) が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加算するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と/l/の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	3step小テスト(1回目)、連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	3step小テスト(2回目)、On an Airplane(2)
第13回	On an Airplane(3)、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)、洋楽を聞き取る
第15回	音法のReview、洋楽を聞き取る、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2016/06/06 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009032	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (D1・D2) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	(G1のみ)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、e-learning学習(3Step Listening (30%) + Power Words (10%))(、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepは、2回のテストでもって評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	6月8日 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	6月10日 速読(phrase reading), Fuel your body and mind. 基本動詞(1)		
第3回	6月15日 (phrase reading)とペアワーク(1), Laughing will save you from going crazy. 基本動詞(2)		
第4回	6月17日 速読(phrase reading)とペアワーク(2), The French Paradox 基本動詞(3)		

第5回	6月22日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(4), Don't stay away from natto. 基本動詞(4)
第6回	6月24日 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign? 基本動詞(5)
第7回	6月29日 3 stepテスト 1回目, 6/30 Power Words締め切り 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(5), Turn-taking (2)基本動詞(6) 4/28 Power Words 1回目締め切り
第8回	7月1日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(6), Getting a good night sleep is a challenge. 基本動詞(7)
第9回	7月6日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(7), Current Issues 基本動詞(8)
第10回	7月8日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(8), , Chocolate and its magical power. 基本動詞(9)
第11回	7月13日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(9), Processed Food. 基本動詞(10)
第12回	7月15日 速読 (phrase reading) とハ°アワーク(10), Environment Health Threats. 基本動詞(11)
第13回	7月20日 3 stepテスト2回目, Genetically modified food, IELTS Wrting入門(1) 基本動詞(12)
第14回	7月22日 IELTS Wrting入門(2), 基本動詞(13), 7/26 Power Words締め切り, 3step学習時間締め切り
第15回	7月27日 速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習 5/31日に3step学習時間締め切り

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009033	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F1) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	F1		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	inage@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 16:10 ~ 17:40		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標 / Goal	英語の4技能の訓練を通して、TOEIC550点が獲得できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業方法 (学習指導法) / Method	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	16回目 定期試験		
キーワード / Key word	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Stream. Intermediate KINSEIDO. by O. Takeuchi 他.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	期末試験(60%)、CALL教材への積極的な取り組み状況(40%)を基準に評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	E-learning への取り組み及び授業での発表活動に対する評価が大きな割合を占めますので、積極的に英語学習に取り組んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Pink Carnations Scanningのスキルについて		
第2回	The History of Jeans Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)		
第3回	To Long Life! Skimming for the Main Idea		
第4回	Be Careful What You Wish For Recognizing Sequence of Events		
第5回	Baseball and Cricket Identifying Main Ideas within Paragraphs (1) 3 step 小テストの実施		
第6回	In Our Blood or in Our Minds Predicting のスキル		
第7回	Know Yourself, Know the Market Inferring のスキル		
第8回	Brainstorming Identifying Main and Supporting Ideas		

第9回	A Good Consumer Understanding Main Ideas (Gist)
第10回	Welcome to the Hall of Fame! Identifying Main Ideas with Paragraphs (2)
第11回	Special Circumstances Developing Reading Fluency (1) 3 step 小テストの実施
第12回	Lies and Statistics Developing Reading Fluency (2)
第13回	Builders Break Ground on Blackwood Bridge Project To Read Newspaper Articles
第14回	Coded Communication Developing Reading Fluency (3)
第15回	Lucid Dreaming Developing Reading Fluency (4) 授業のまとめ
第16回	定期試験実施

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009034	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F2) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(F2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水5 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、環境・医療・健康・食品関係のCNNのニュース素材を用いて、リスニング力やリーディング力および専門に関する語彙力の養成を行います。また、音読の訓練も行い、スピーキングの基礎訓練も行います。また、水産関係に関する英文の読解も行います。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Words およびVocabulary Check で登場する計 約300語を確実に修得します。e-learning 教材パワーワーズレベル3の英単語90%を修得します。3Step 教材は、20時間以上学習してもらいます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。テキストのリスニング教材では、CALL教室の機能を用いて、いろいろな方法でCNNを聞き取る練習をします。また、リーディング用教材では、大意を取る練習をしながら、速読の訓練をします。 CNNのテキストと同時に授業中にも、3 Step教材の指導もします。課題学習の整理やテストなどを行います。パワーワーズも、指定したレベルを定期的に試験します。 またコミュニケーション活動用のプリントを利用して、リスニングの練習やリピーティングやシャドーイングの訓練も行い、4技能の修得を目指します。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自のテストも行います。 テキストのリスニング問題については、CALL教室の機能を利用して、とことん聞き取る練習をします。指定された範囲の部分は、かならず家庭で学習してきてください。 その後、テキストを用いて、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。 また、プリントとCDを用いて専門分野の英単語の修得も行ないます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業の一部を利用してe-learning教材にも挑戦してもらいますが、大半は授業外での学習となります。その成果は、小テストにより評価します。 担当者から指示された家庭学習や予習復讐を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): Power Up Your English with CNN News (朝日出版) 1,800円 教材 : プリント教材 必要に応じて毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、e-learning 40%(小テスト) 授業中の発表10%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること(ワークブックとして、時々提出してもらいます)。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習時間を作り出し、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推奨しているe-learning 教材の3 Step やパワーワーズ、さらにNHKテレビやラジオの英語講座がおすすめです。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 教科書 Unit 1. e-learning Power Words Level 3 Unit.1~5 3 Step First Listening
第2回	教科書 Unit 2. e-learning Power Words Level 3 Unit.6~10 3 Step First Listening
第3回	教科書 Unit 3. e-learning Power Words Level 3 小テスト 3 Step First Listening
第4回	教科書 Unit 4. e-learning Power Words Level 3 Unit.11~15 3 Step First Listening
第5回	教科書 Unit 5. e-learning Power Words Level 3 Unit.16~20 3 Step First Listening テスト
第6回	教科書 Unit 6. 3 Step First Listening e-learning Power Words Level 3 小テスト
第7回	教科書 Unit 7. e-learning Power Words Level 3 小テスト Unit.21~25 3 Step First Listening
第8回	教科書 Unit 8. e-learning Power Words Level 3 Unit.26~30 3 Step First Listening
第9回	教科書 Unit 9. e-learning Power Words Level 3 小テスト 3 Step First Listening
第10回	教科書 Unit 10. e-learning Power Words Level 3 Unit.31~35 3 Step First Listening
第11回	教科書 Unit 11. e-learning Power Words Level 3 Unit.36~40 3 Step First Listening テスト
第12回	教科書 Unit 12. e-learning Power Words Level 3テスト aeroponics に関するビジネス英語
第13回	教科書 Unit 13. e-learning Power Words Level 3 Unit.41~45 aeroponics に関するビジネス英語
第14回	教科書 Unit 14. e-learning Power Words Level 3 Unit.46~50 aeroponics に関するビジネス英語
第15回	教科書 Unit 15. e-learning Power Words Level 3 小テスト aeroponics に関するビジネス英語
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009035	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F3) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	興味深い内容の、多彩なトピックの英文を通して、物事に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、物事に対する考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Goal	様々な事象に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を指導する。		
授業内容/Class outline/Con	リーディングの方法として、準備段階を踏んで、フレーズ・リーディングを中心に様々なリーディングの活動(スキミング、スキャニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに理解をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキャニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、リスニングと英作文の問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は様々なトピックを取り扱い、関心を引くものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。 また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行ってください。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / 多彩な関心を引くトピック		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Read Smart PLUS 『楽しく読もう! 総合英語演習 2』 (安浪誠祐 / Richard S. Lavin : センゲージラーニング株式会社) 音声はダウンロード形式です。http://cengage.jp/elt/JapaneseFourSkills  英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験 60%、課外学習のE-learning 40% (3 Step 30%、Power Words 10%) を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 【3Stepの小テスト実施日程】授業の原則6回目、12回目です。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして、音声を聴いてから臨んでください。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 ( URL ) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。音声を聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 4月12日	導入・授業内容の説明
第2回 4月19日	Unit 1
第3回 4月26日	Unit 2
第4回 5月10日	Unit 3
第5回 5月17日	Unit 4 第1回 3 Step 小テスト
第6回 5月24日	Unit 5
第7回 5月31日	Unit 6
第8回 6月 7日	Unit 7
第9回 6月14日	Unit 8
第10回 6月21日	Unit 9
第11回 6月28日	Unit 11 第2回 3 Step 小テスト
第12回 7月 5日	Unit 12
第13回 7月12日	Unit 13
第14回 7月19日	Unit 14
第15回 7月26日	Unit 15
第16回 8月 2日	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009036	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G1) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(cal12) / RoomC-36(cal12)		
対象学生(クラス等) / Object Student	G1 多文化社会学部生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 4 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に英文の大意を素早く捉え、英語語で要約する訓練やE-mailの書き方の訓練を行う。とりわけ、英語圏への留学を想定した実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業到達目標/Goal	英語圏への留学を想定し、英語でのE-mailの書き方を身につける。 まとまった英文の大意をつかみながら、日本語・英語語の要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	グループワークを通して、学生が自ら考え、学ぶことを目的とした活動を取り入れる。 また、添削指導を行いながらE-mailの書き方や要約する力の基礎固めを行う。そのため、授業前に基礎知識をビデオ教材で学び、基本的な書き方を理解してくること。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	3-Step CALL System (30% : 小テスト2回、学習時間) Power Words (10%) 授業中の小テスト (10%) 課題及び授業中の取組 (30%) 期末試験 (20%)		
受講要件(履修条件)/Requirements	多文化社会学部生以外の再履修生の受講不可		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	リスニング力を上げるためには、毎日少しの時間でも英語を耳にする時間を作りましょう!!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習法方についての説明 アンケートの実施 E-mailを英語で書いてみよう		
第2回	E-mailの書き方(1) E-mailの基本的な書き方について考える。		
第3回	E-mailの書き方(2) E-mailの送信元、送信先、タイトルの書き方について学ぶ。		
第4回	E-mailの書き方(3) E-mailの本文の書き方について学ぶ。		

第5回	E-mailの書き方(4) E-mailの返信の書き方について学ぶ。
第6回	3-STEP小テスト（30分程度）、要約の方法(1) ニュースを読み、Articleの要約とは何かについて考える。
第7回	要約の方法(2) パラグラフ毎の要約方法について学ぶ。 キーワードの見つけ方
第8回	要約の方法(3) パラグラフ毎の要約方法について学ぶ。 要約の書き方
第9回	要約の方法(4) 全体の要約方法について学ぶ。 要約の書き方（200語程度）
第10回	要約の方法(5) 全体の要約方法について学ぶ。 要約の書き方（50語から100語程度）
第11回	要約の方法(6) 本の要約方法について学ぶ。 好きな本を選び、要約する Peer review
第12回	3-STEP小テスト（30分程度）、要約の方法(7) 英語で本の要約を発表する（準備）。 発表時に必要なフレーズについて学ぶ。
第13回	要約の方法(8) 英語で本の要約を発表する。
第14回	要約の方法(9) 英語で本の要約を発表する。
第15回	総復習と振り返り
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009037	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G2) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化] 2号館 12F パソコン室		
対象学生(クラス等) / Object Student	G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行い、かつ英語で要約を行える基礎固めを行う。		
授業到達目標/Goal	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、リスニングテストを行い、その後、解答・解説を行う。後半では、プリント教材を用いてreadingに特化した、論理的に大意をつかむ訓練を行う。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	reading, summary writing, listening		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	予習チェック(20%), 3Step CALL System(30%), Power Words(10%), 定期試験(40%)		
受講要件(履修条件)/Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, プリント教材(1)		
第3回	Listening 2, プリント教材(2)		
第4回	Listening 3, プリント教材(3)		
第5回	Listening 4, プリント教材(4)		
第6回	3Step小テスト(1)(約30分程度), プリント教材(5)		
第7回	Listening 5, プリント教材(6)		
第8回	Listening 6, プリント教材(7)		
第9回	Listening 7, プリント教材(8)		
第10回	Listening 8, プリント教材(9)		
第11回	Listening 9, プリント教材(10)		
第12回	3Step小テスト(2), プリント教材(11)		
第13回	Listening 10, プリント教材(12)		
第14回	Listening 11, プリント教材(13)		

第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/25		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009038	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G3) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟5F CALL教室		
対象学生(クラス等) / Object Student	(G3のみ)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター110		
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として時事英語にふれる。		
授業到達目標/Goal	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、日本語直訳によらない英語表現、特に、Plain Englishの基礎を身につける。		
授業方法(学習指導法)/Method	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。Current Topicsを扱った英字新聞記事を速読する。		
授業内容/Class outline/Con	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Better Health for Every Day (金星堂)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	評価は、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(40%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3Stepを用いたe-Learning学習は、2回のテストでもって評価し、Power Wordsはレベルを一つ上げる学習を10%とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細/Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents		
第1回	4月11日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明		
第2回	4月18日 第2回 速読(phrase reading)とペアワーク(1), Fuel your body and mind.		
第3回	4月25日 第3回 速読(phrase reading)Laughing will save you from going crazy.		
第4回	5月2日 第4回 速読(phrase reading)とペアワーク(2), The French Paradox		
第5回	5月9日 第5回 速読(phrase reading) Don't stay away from natto.		

第6回	5月16日 第6回 Turn-taking (1), Is snoring a bad sign? 3STEP 小テスト 1回目
第7回	5月23日 第7回 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(3), Turn-taking (2)
第8回	5月30日 第8回 速読(phrase reading)と, Getting a good night sleep is a challenge. (6月3日にPower Words1回目締め切り)
第9回	6月6日 第9回 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(4), Current Issues
第10回	6月13日 第10回 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(5),, Chocolate and its magical power.
第11回	6月20日 3STEP小テスト 第11回 速読(phrase reading)と <sup>h</sup> アワーク(6), Processed Food.
第12回	6月27日 3STEP小テスト 2回目 第12回 速読(phrase reading)とEnvironment Health Threats.
第13回	7月4日 第13回 速読(phrase reading)と Genetically modified food
第14回	7月11日 IELTS Writing入門 7/22 Power Words 2回目締め切り
第15回	7月27日 第14回 速読(6) まとめ
第16回	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/06/06 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009039	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P1) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	光野 百代 / Mituno Momoyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	光野 百代 / Mituno Momoyo		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mmitsuno@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜2限		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は、人間生物学に関する語彙と概念を紹介する教科書を使って英語の表現や論理を学習し、主にリーディングおよびリスニングのコミュニケーション能力を習得することに重点を置きます。		
授業到達目標/Goal	英語で表現される内容を論理的に理解し、リーディングおよびリスニングの技能を習得し、英語を読み・聞くことに自信をつける、ことを目標とします。		
授業方法 (学習指導法) /Method	英語で書かれた人間生物の概念を理解することを中心に活動を行います。また、コミュニケーション能力の習得に必要な、英語の聞き取り、発音や、語彙の獲得、英語を論理的に理解する、等の練習も行う予定です。		
授業内容/Class outline/Con	授業のはじめに重要な学習活動を概観した後、1回の授業で1Unitをカバーしていく予定です。授業の進度に応じて、授業計画が変更になることがあります。		
キーワード/Key word	リーディング、リスニング、クリティカル・シンキング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	CLIL英語で学ぶ身体のおしくみと働き 三修社 2052円 およびハンドアウトを適宜配布。 英語の辞書		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	E - Learning (40%: 3-step 30% and Power Words 10%)、授業活動・課題への積極的参加 (20%)、期末試験 (40%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	基本的に授業には毎回遅れないよう出席して下さい。授業を5回以上欠席した場合は成績評価の対象としません。また、2回の遅刻で一回の欠席とカウントしますので注意して下さい。最初の授業は、授業計画を説明するので必ず出席して下さい。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 (6 June)	Introduction		
2 (8 June)	Unit 1		
3 (13 June)	Unit 1		
4 (15 June)	Unit 1		
5 (20 June)	Unit 2		
6 (22 June)	Unit 2		
7 (27 June)	Unit 3		
8 (29 June)	Unit 3 3 step short test		

9 (4 July)	Unit 4
10 (6 July)	Unit 4
11 (11 July)	Unit 5
12 (13 July)	Unit 5
13 (20 July)	Unit 6 3 step short test
14 (25 July)	Unit 6
15 (27 July)	review
16 (1 August)	Final exam

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160590009040	科目番号 / Subject code	05900090
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11113_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P2) / Comprehensive English I		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	(P2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火4 水5 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。Business English の教材から、医学に関する話題を選び、リスニングやスピーキングの訓練をします。		
授業到達目標/Goal	テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定されたKey Word 約200語およびテキスト中のWords and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある60のKey Sentenceが書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が、スラスラ言えるようにします。またe-learning教材パワーワーズとリスニング教材3 Stepの指定した範囲や時間をクリアしてもらいます。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習形式で行います。指定された英文テキストは、大意を取る練習をします。また細かな部分の読解は、テスト形式のプリントを解きながら、行ないます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してこることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。さらに、e-learning 教材、パワーワーズと3 Step も課し学力の向上をはかるとともに、評価にも加えます。		
授業内容/Class outline/Con	e-learning 教材のテストに関しては、大学指定の小テストに加え、担当教員作成の独自の小テストを行います。 授業は教科書を用いてリーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。このテキストを用いて、速読練習をし、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。テキストの詳細の部分の読解は、テスト形式のプリントを用いて、効率的に行います。 またe-learning 教材パワーワーズや3 Step CALLの教材を授業中の一部を利用して行うとともに、残りは授業外の学習として、指定するペースで各自学習してもらいます。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。		
キーワード/Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 (テキスト) : Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、 定期試験50%、授業中の発表10%、e-learning 40% (テスト) で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業の詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) Business English Flu (1) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit1-5
第2回	Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) Business English Flu (2) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit 6-10
第3回	Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) Business English Flu (3) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第4回	Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) Business English Flu (4) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit11-15
第5回	Business English Flu (5)と復習 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit 16-20
第6回	Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) Business English obesity (1) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第7回	Business English obesity (2) 3 Step CALLの教材 (New York Live) テスト Power Words Level 5 Unit 21-25
第8回	Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) Business English obesity (3) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level Unit 5 26-30
第9回	Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) Business English obesity (4) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第10回	Business English obesity (5)と復習 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit 5 31-35
第11回	Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) Business English Good Posture (1) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit 5 36-40
第12回	Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy Business English Good Posture (2) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 小テスト
第13回	Unit 15. Medicine Around 1850 Business English Good Posture (3) 3 Step CALLの教材 (New York Live) Power Words Level 5 Unit 5 41-45
第14回	Business English Good Posture (4)(5) 3 Step CALLの教材 (New York Live)テスト Power Words Level 5 Unit 5 46-50
第15回	Business English Good Posture 復習 Power Words Level 5 Unit 5 小テスト
第16回	定期試験